

文部科学省委託事業:平成22年度国際交流拡大プログラム

ESDとしての都市コミュニティ防災教育：国際フォーラム in 新宿

2011年2月15(火) - 19日(土) 於・東京

開催要項

1. 主催等

主催 (財)ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

共催 工学院大学

後援 日本ユネスコ国内委員会、内閣府(防災担当)、総務省消防庁、(独)国際協力機構(JICA)、東京都、新宿区、国立教育政策研究所(NIER)、アジア防災センター、人と防災未来センター、AGC 旭硝子、(株)損害保険ジャパン、白山工業(株)、ヤマサ醤油(株)、日本ユニマ(国際人形劇連盟日本センター)、(財)現代人形劇センター、(NPO法人)人形劇プロジェクト稲むらの火

2. 背景

防災活動においては、住民自らが自然災害とそのための備えについて知識とスキルを持つことが災害に備えるために重要といわれて久しい。国内で、また諸外国で、自然災害に見舞われる可能性の高い地域では、コミュニティにおける防災教育が重視されているが、情報の共有は十分とはいえず、国際的に好事例の共有を行うことで、地域における防災教育の質が高まることが期待される。

また、わが国の提案によって実現した「国連ESD(持続発展教育)の10年」展開の中で、ESDの中でも重要な分野といわれる防災教育については、議論の整理は国際的にも端緒についたばかりであり、この面でも国際交流の必要性が指摘されている。

主催者である財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、新宿区に本部事務所を置き、1971年の設立以来、アジア太平洋諸国を主な対象地として、文化、教育、人物交流の分野における諸事業を、ユネスコや専門家、政府機関、NGOらとの連携のもとに進めている。防災教育の分野では、2004年末のインド洋大地震・大津波の甚大な被害を背景に、各種教材制作の国際プロジェクトや国際フォーラムの開催等を行っている。共催者である工学院大学は新宿区や東京都などの行政、企業との連携のもと、若者主導の地域防災教育活動を活発に行っている。

3. フォーラムの目的

- アジアの防災教育関係者が、コミュニティレベルでの防災教育を効果的に推進するための方法論、教材を共有し、それぞれの地域での防災教育の推進に資するとともに、国際協力を進める機会とする。
- 開催地である東京都新宿区の住民やそこで働く人々、ならびにコミュニティ防災教育に関心を有する専門家、行政・企業関係者、学生、市民、ボランティアに、この分野における国際的な取り組みについて周知する機会とする。
- 結果として、(1)都市部におけるコミュニティレベルの防災教育および効果的な教材(疑似体験

提供教材、演劇、アニメなど含む)が、日本を含むアジア諸国に共有され、(2)実践者、研究者など関係者の今後も継続する国際交流の契機となり、(3)ESD(持続発展教育)としての防災教育のあり方についての議論を整理し、本フォーラムの広報活動により、ESD と ESD におけるコミュニティ防災教育の重要性と同分野での国際協力の必要性について、広く一般の意識啓蒙を図ることが期待される。

4. 日程

- 2月15日(火) 海外参加者来日
- 2月16日(水) 防災教育施設視察(都庁、新宿区防災教育施設など)
- 2月17日(木) 公開シンポジウム(工学院大学新宿キャンパス アーバンテックホール)
教材展示・実演(工学院大学新宿キャンパス アーバンテックホールホワイエ)
- 2月17-18日(金) 専門家会議(工学院大学新宿キャンパス)
- 2月19日(土) 海外参加者離日

5. 参加者

- ー 以下のアジア諸国の防災教育専門家
バングラデシュ、中国、インドネシア、フィリピン、スリランカ、タイ
- ー ユネスコ本部防災教育専門家
- ー 日本国内在住の専門家、実践者、一般市民

6. 会議使用言語

英語(英語-日本語同時通訳あり) ただし、会議資料はすべて英語です。

7. 連絡先

財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)
人物交流課 (担当:村上、冨本)
〒162-8484 東京都新宿区袋町6番地 日本出版会館
電話: 03-3269-4498
Fax: 03-3269-4510
Eメール: murakami@accu.or.jp; fumoto@accu.or.jp